

はじめに、

現在、上白根中学校は、一般学級数が5学級（小規模校）となっており、横浜市で最も生徒数が少ない学校となっています。今後も小規模校の状態が継続していく見込みです。そのため、「『旭北中学校・上白根中学校』通学区域と学校規模適正化等検討部会」において、隣接する旭北中学校との間で、上白根中学校の適正規模化に向けて具体的に検討しており、7月16日に第4回検討部会を開催しました。今後も、この部会での検討状況等については、本ニュースを発行し、両校の通学区域内にお住まいの皆さまや保護者の皆さまにお伝えしていきます。

第4回検討部会での決定事項など

- 基本的な学校統合の考え方及び学校統合を実施した場合の統合時期について説明しました。
- これまでの検討経過から、通学区域の変更等を実施しても小規模校の状態が解消しないため、**旭北中学校と上白根中学校は、学校統合することが望ましいとの方向性を本部会で決定しました。**また、**時期としては、令和5年4月に学校統合する方向性**で、今後検討を進めることとなりました。
- 第5回検討部会では、使用校舎及び通学区域並びに学校名の決定方法について検討を行うこととなりました。

第4回検討部会

日時：令和2年7月16日（木）

19時00分から

会場：ひかりが丘地域ケアプラザ1階



1 両校の基礎情報

【施設状況】《令和2年5月1日現在》

学校名	上白根中学校	旭北中学校
開校年	昭和46年(50年目)	昭和59年(37年目)
親校	鶴ヶ峯中学校	上白根中学校
小中一貫教育推進ブロック	四季の森小学校	上白根小学校、白根小学校

2 横浜市立小・中学校の通学区域制度及び学校規模に関する基本方針（抜粋）

(1) 適正な学校規模の考え方

教育効果との相関、教員配置など教育指導面における充実や管理運営面、学校施設・設備の効率的利用などから総合的に判断し、次のとおり、適正規模等の範囲を定める。

		11	12	24	25	30	31	(学級数)
小学校	小規模校		適正規模校		準適正規模校		過大規模校	
中学校	小規模校		準小規模校		準適正規模校		過大規模校	
	8	9	11	12	24	25	30	31 (学級数)

(2) 小規模校対策

小規模校の問題を解消し、教育環境を改善するとともに、効果的・効率的な学校経営を行うために、保護者や地域住民と十分に調整を図り、理解と協力を得ながら、通学区域の変更等を行い学校規模の適正化を推進する。また、通学区域の変更や弾力化等が実施できない場合や実施によっても小規模校の状態が解消しない場合については、学校統合について検討を進めることとする。

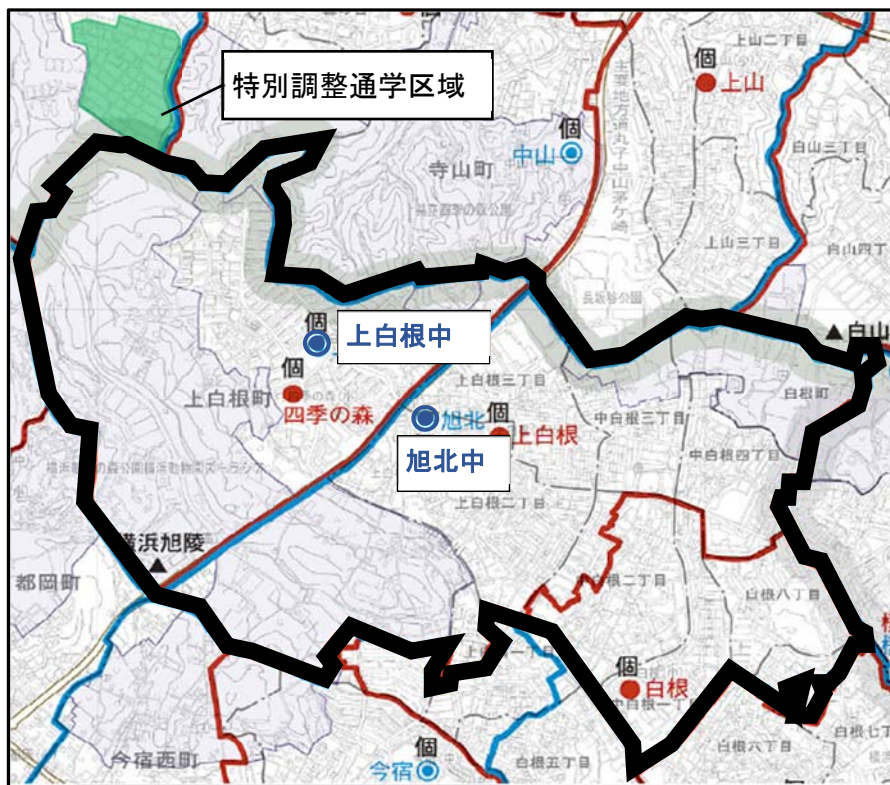
3 基本的な学校統合の考え方について

旭北中学校・上白根中学校の両校を閉校し、統合した新しい学校を開校します。統合した新しい学校は、旭北中学校と上白根中学校、これまでの両校の歴史を引き継ぎながら、生徒や保護者、地域の皆様とともに、新たな歴史を歩んで行くこととなります。部会では、その点も前向きにとらえていただきながら、御議論をお願いしました。

4 学校統合を実施した場合の推計について（第2回検討部会資料再掲）

(1) 通学区域(現在の旭北中学校の通学区域と上白根中学校の通学区域を合わせた区域。)

※現在設定されている特別調整通学区域は解除しない。



(2) 学校統合した場合の推計について

学校名		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	保有普通教室
上白根中	生徒数	131	119 (112)	118	120	115	100	82	16
	学級数	6*	5 (5)*	5	5	4	4	3	
旭北中	生徒数	473	446 (458)	414	387	410	390	391	18
	学級数	13	13 (13)	13	12	12	11	11	

		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
統合校	生徒数	—	—	532	507	525	490	473
	学級数	—	—	16	15	15	14	14

※【R1】令和元年5月1日現在の実数値（一般学級）※複式学級を実施。
 【R2】（ ）は令和2年5月1日現在の実数値。
 【R2以降】令和元年度義務教育人口推計による推計値（一般学級）

5 学校統合を実施した場合の統合時期について

統合時期を決定するにあたっては、令和元年度義務教育人口推計などから上白根中学校の生徒数が年々減少していく状況にあること、両校の生徒が「新しい学校になることへの期待感を持つ」など心理的な面を含めた準備期間として、1年間かけて様々な授業や行事などで交流を図っていくこと、新しい統合校に入学予定の児童・保護者の思いなどを考慮し、総合的に判断していただく必要があります。

(1) 学校統合時期に応じた関係する学年について

検討案として、**案1**を令和3年4月、**案2**を令和4年4月、**案3**を令和5年4月としてお示します。

R2年7月現在	案1 R3年4月	案2 R4年4月	案3 R5年4月
小3	小4	小5	小6
小4	小5	小6	中1
小5	小6	中1	中2
小6	中1	中2	中3
中1	中2	中3	

(2) 学校統合時期の考え方

案1 令和3年4月

- ・ 新型コロナウイルスの影響で学校運営が安定していないため難しい。
- ・ 上白根中学校は、推計上は5学級の予定だが、転出等の状況によっては統合前に3クラス編成（全学年1クラスずつ）となる可能性がある。
- ・ 両校生徒の交流期間が1年間よりも短くなってしまう。

案2 令和4年4月

- ・ 上白根中学校は、推計上は5学級の予定だが、転出等の状況によっては統合前に3クラス編成（全学年1クラスずつ）となる可能性がある。
- ・ 両校生徒の交流を令和3年から1年間かけて行うことができる。

案3 令和5年4月

- ・ 上白根中学校は、推計上は4学級の予定だが、転出等の状況によっては統合前に3クラス編成（全学年1クラスずつ）となる可能性がある。
- ・ 両校生徒の交流を令和3年から1～2年間かけて行うことができる。

6 第3回検討部会以降に寄せられた意見及び質問（⇒ 事務局回答）

- ・ 統合すべきだと思います。通学時間が長くなる件も、私立の方が通学時間は長くなりますし、中原街道の横断についても、中山小学校や森の台小学校の児童はそこを通過して通学しています。少人数で小・中9年間同じメンバーで過ごすということは、小さいくりの中での関係ということで、切磋琢磨する環境ではありません。また、学校統合は、他を知り自覚するという面でも必要です。早急に前向きに進めていただきたいと思います。切に願います。

⇒ 今回いただいた御意見は、次回の検討部会で報告し、検討の参考とさせていただきます。

・旭北中学校への統合がベストと考えます。教育委員会は、部会で有意な情報を選択し、上白根中学校を使用するよう誘導していないか疑念を抱きます。部活で特にサッカー部をクローズアップした意見も多く取り上げられていますが、グラウンドや体育館のみ上白根中学校を利用できる形も選択肢に入れるべきではないでしょうか？付度誘導なしに検討していただく事を強く希望します。

⇒ 「旭北中学校・上白根中学校」通学区域と学校規模適正化等検討部会』では、教育環境をより良くするため、小規模校の課題解消に向けて議論をしております。仮に学校統合すると決定した場合には、統合校の使用校舎につきましても検討部会の中で議論していただくこととなります。

・四季の森小学校も10年前に統合したにも関わらず、児童数は減少傾向にあります。当時の判断が適切だったのか、この様な事態は想定できなかったのでしょうか？短絡的に「生徒数が減少したら統合」ではなく、長期的（20年先）に考えて上白根中学校、旭北中学校、四季の森小学校、上白根小学校の4校の義務教育学校の検討もしてはいかがでしょうか？

⇒ 大池小学校とひかりが丘小学校の統合に向けた検討を行った平成20～21年度は、平成15年に策定された「横浜市立小中学校の規模及び配置の適正化並びに通学区域制度の見直しに関する基本方針」に基づいて検討を行ってまいりました。この基本方針では、検討対象とする要件を小学校は「学級数が11学級以下の学校が複数隣接する地域」としており、両校はこの要件にあてはまったため、小規模校再編検討委員会を設置し、検討を行いました。また、義務教育学校についての御意見は、検討部会で報告し、検討の参考とさせていただきます。

・部会ニュースを見ると、統合が決まって、上白根中学校の校舎を使うような印象を受けます。人数の多い旭北中学校の生徒が中原街道を渡って通うのは心配です。生徒数を見ると統合も致し方ないと思いますが、私立を選択したい人もいますし、準備期間はきちんと設けてほしいです。また、旭北中学校の学区を上白根中学校の学区に分けることはできなかったのかと思います。どちらの関係者も自分の中学校を使ってほしいという思いがあると思いますが、それぞれの立場を尊重しつつ議論を進めていただきたいです。

⇒ 学校統合は決定しておりません。仮に、学校統合するとなった場合には、どちらの校舎を使用する方が生徒の教育環境に良いかを御議論していただく予定です。また、旭北中学校の学区を上白根中学校の学区に分けることは、第1回部会で御検討いただき、検討部会ニュース第1号にも掲載しております。

※お寄せいただいた御意見等は、全て検討部会にて報告し、委員の皆様を検討していただいています。なお、紙面の都合上、掲載にあたっては抜粋しております。

7 主な発言や説明

(凡例 ☆：各委員からの主な発言 ⇒：事務局からの説明)

⇒ (学校規模の適正化等に向けた資料について、事務局から説明しました。)

☆今年度の入学者数や学校の状況について、上白根中学校と旭北中学校のお話を伺い、その上で、各委員から学校統合をするかどうか、また、統合をするのであれば時期について御意見を伺いたいと思います。

☆上白根中学校の新1年生は一般級が35名の1クラスで、個別支援学級の3名と合わせて38名。入学式は生徒のみで行いました。6月から生徒の登校が始まり、他校では午前、午後に分かれての分散登校のところ、当校は少人数であることが功を奏し、休校前と変わらない形で登校ができました。来年の入学者数は、現時点で個別支援学級の生徒を入れて41名の予定で、今の状態だと1クラス編成になりそうです。

☆旭北中学校の新1年生は予定通り4クラスで、例年とあまり変わらない状況です。4・5月の環境への適応に一番重要な期間が、休校によって抜け落ちてしまったことが一番の心配でしたが、生徒達はとても元気にしっかりした態度で、登校しています。授業やさまざまな活動の中で、生徒達がきちんとした気構えを持っているのが、よくわかり頼もしく感じています。

☆統合については、賛成とは言えませんが、統合せざるを得ないと思っています。また、統合時期は、統合になることが入学前に周知できる令和5年4月が最適なのではと考えます。今回の会議である程度の形をまとめていただければと思います。

☆各学校の状況やこれまでの経緯などを振り返ると、子ども達の将来のためには多くの人の中でも揉まれていく方が良いと思っていますので、統合は致し方ないと思います。時期は令和5年4月とし、新入学生が統合を知って入学する方が、生徒の心構えも生きるのかなと思います。また、統合となれば心の配慮が必要だと思います。具体的に使用校舎などが決まっている訳ではありませんので、不安なのはどちらの中学も同じだと思いますが、上白根中は人数が少ないので、生徒も保護者もやっぱり不安が大きいということをお伝えしておきます。

☆賛成とは言い難いですが、統合は致し方ないと思っています。資料に、「新しい学校への期待感を持つ」とありますが、子ども達は期待感も不安感もあることを申し上げたい。また、「統合前に3クラスになる可能性がある」から急ぐというのは違うと思います。統合時期は、小学校6年生の子が統合を承知の上で入学できる令和5年の4月に賛成です。

☆私としては、気持ちよく統合しましょうという意見に変えました。子ども達のことを考えれば、統合の時期などを早く周知していただいて、保護者の方の安心を一番に考えて欲しいと思います。統合時期は、皆さんがおっしゃったように、令和5年4月だと思います。

☆この話し合いが（コロナで）中断した関係で、保護者も状況が分からず、ざわざわしている部分もあります。子ども達のために良い方向を考えると統合は致し方ないのではないかと考えています。統合の時期に関しては、入学する時点で統合を承知している令和5年の4月がいいのではないのでしょうか。

☆結論から言えば統合は致し方ないと考えます。しかし、今のウィズコロナ時代に先ほど上白根中は分散登校せずに登校できたと聞くと、統合か小規模か本当に分かりません。小規模が良いのではないかと頭によぎったのも事実ですし、「子ども達のために」と考え、子ども同士の交流が必要だということも事実です。時期については、コロナの状況も分からないので、令和5年4月からと考えます。

☆保護者の皆さんの話を聞かせていただいて、保護者の方のご賛同をいただけるのであれば、子ども達が様々な体験ができるように統合をしていただければと考えます。ほとんどの方が、令和5年ということでしたので、それでよろしいかと思っています。

☆私も賛成という訳ではありませんが、これまで色々な案を考えた結果、統合は致し方ないと思います。白根小は、学区が一番端ですから、鶴ヶ峰中の方に近い子もいることを御理解いただきたいと思っています。

☆保護者の方々もそれぞれの立場で苦渋と様々な不安の気持ちを伝えていただいたと思います。3回の部会の中で様々な検討を行い、やはり統合を選択せざるを得ないという気持ちだったと思います。そのお気持ちを前向きにとらえて、両校のお子さん、保護者の方が安心できるように、再度みんなで検討していただければ良いのかと思います。保護者の方たちの思いに沿った形で進めていただければと思います。

☆やはり上白根中にしても、50年の歴史ある学校ですから、自治会としては残していきたいと考えています。ただ、そんなことを言っても、皆さんが賛成ということでしたら、私もそれに同意したいと思っています。校舎については、旭北中よりも上白根中の方が校庭は広いですから、地域のためにも何らかの形で上白根中も使っていただきたいと考えております。

- ☆統合は致し方ないと思います。白根小は学区としては端の方になりますので、区域の全体を見ていただいて、できれば旭北中の校舎を使った形でお願いしたいです。また、統合時期はコロナの状況も見えないので、令和5年4月が良いのではと思います。
- ☆統合が子供たちに先々どのような影響があるのかが気にかかっています。保護者の方が本当に「やむを得ない」ということであればいいのですが、何とか流れに乗ってということだと、ちょっと違うのではないかと思います。
- ☆私も統合は致し方ないかなと考えます。この先、上白根中の生徒が爆発的に増えるとは考えにくいですが、ただ条件として、両方の校舎を使えないかと思っています。例えば、1・3年は旭北中の校舎、2年生は上白根中の校舎というように。旭北中と上白根中の距離が比較的近いので。中原街道を渡ってという所もあるかも知れないが、学年で割ればそれほど移動が頻繁にはならないのかと考えました。
- ☆ひかりが丘団地の情勢を見ますと、これ以上人数が増えるとは考えにくいので、統合は仕方がないと思っております。今、6年生のお母さんたちは来年どうなるのだろうという不安感でいっぱいだと思います。はっきり方向性を示した方が良いと思います。統合時期は、令和5年4月として、それまでの2年間で地域を含めていろいろ考えながら良い学校ができたらいと思います。
- ☆中学生は将来のことを考える歳ですから、今回の統合に際し、自分たちはどう考えて、どういうことを企画して、どういうことを提案したかという、そう言うものが残せるように、ぜひ子どもたちを参加させてやりたい。子どもたちが自分たちのために何が一番いいかと考えるチャンスを与えてあげて欲しい。そのような特色のある統合を行い、それを我々大人が全面的にサポートするというようお願いしたい。
- ☆この話があったときから、少しでも上白根中の子どもを増やせないかといろいろ検討してきました。しかし、どうしても無理だということが解って、大変悔しい思いはありますが、統合は致し方ありません。消極的な賛成ですが、両校の良いところを融合して、良い学校を作ろうということで、父兄も、子ども達も皆で力を合わせてやっていくというのが一番だと思います。統合時期は、入学するときに、自分が中学3年のときに統合するんだと分かっている令和5年が良いと思います。
- ☆皆さんの意見を伺うと、統合というのはやむを得ない、子ども達のことを考えるとどうしても、そうならざるを得ないという意見が多かったと思います。そして、統合時期については令和5年がいいということで意見がまとまったと思いますが、他に意見はありますか。
- ☆他に意見もないようなので、上白根中と旭北中は統合することとし、統合時期は令和5年4月が望ましいということで進めたいと思います。

◆第5回検討部会について ※会議は、非公開とすることを決定しました。

日時：令和2年8月27日（木） 19時00分から 会場：ひかりが丘地域ケアプラザ

◆「旭北中学校・上白根中学校」通学区域と学校規模適正化等検討部会の経過等について

検討部会の会議案内や会議録、ニュースについては、ホームページからもご覧になれます。



<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kosodate-kyoiku/kyoiku/sesaku/tekiseika/shokibo/kamisirane.html>

◆事務局（お問い合わせ先）

皆さまからの御意見や御質問を受け付けております。Eメール、FAX又は電話でお寄せください。

横浜市教育委員会事務局 学校計画課

Eメール：ky-asahi2019@city.yokohama.jp

FAX：045-651-1417

電話：045-671-3252

